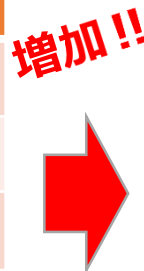


「特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺」特集

鳥取県での発生状況

※「安全安心だよりNo.3」でもお知らせしています。
(数値は鳥取県警察本部資料を引用)

手口		令和6年	令和7年	増減
特殊詐欺	認知件数	76件	138件	+62件
	被害額	1億490万円	4億1,725万円	+3億1,235万円
SNS型投資・ロマンス詐欺	認知件数	41件	112件	+71件
	被害額	6億2,822万円	6億5,686万円	+2,864万円



認知件数、被害額とも令和6年と比較して増加しており、皆様の大切な財産が違法に奪われている非常に深刻な状況となっています。被害を防いでいくためには、皆様に犯行の「手口を知って」いただき、「正しく対応」していただくことが大切です。

「あんしんトリピーメール」で配信された主な詐欺の手口（令和8年1～3月）

著名人を騙る投資詐欺

(手口の一例) YouTube動画を視聴中、著名人Aの広告が表示されて興味を持ち、この広告のLINEアカウントを登録した。その後、Aから「スマート資産運用プラン」のグループに招待され、グループ内で利益を出すプランなどを説明された。指示されるまま投資アプリ内で口座を開設し、お金を振り込み、売却益により口座残高が増えていったが、口座から出金したいと伝えると、「IPO資金の支払をする必要がある」と言われ、不審に思い、警察に相談した結果、詐欺被害が判明した。

警察官等を騙る詐欺

(手口の一例) スマートフォンに「あなたの健康保険証が第三者に勝手に使用されている。〇〇県警から電話がある」との電話があり、その後、警察官を名乗る者からの電話で「詐欺の犯人があなたからキャッシュカードを買い取ったと話している。あなたを容疑者として捜査をしている」などと言われ、LINEに誘導されて定時連絡をするよう指示された。後日、検察官を名乗る者からSNSアプリのグループ通話で預金残高を聞かれたので答えると、「口座を凍結する必要がある。国の機関にお金を預ければ、警察署に行かなくてもよい」等と説明を受け、指示どおりにインターネット上で口座を開設し、指定された口座にお金を振り込んだが、不審に思い、家族に相談したところ、詐欺被害が判明した。

SNS型投資・ロマンス詐欺

(手口の一例) SNSで「素敵な関係をさがしています」などと投稿されたアカウントを見つけ、リンクからLINEアカウントを登録した。相手から女性数名の画像が送信されたので、男性が好みの女性を選び、その女性のLINEアカウントに連絡を取ると「デートするにはマッチングサイトの会員カードが必要」と言われ、指示されるまま1万円分の電子マネーカードの番号を伝えた。さらにマッチングサイトの担当者のLINEアカウントを紹介され、送信されたリンクからサイト登録を行うと、「サイトの会員カードを使用するには表示される金額を支払う必要がある」などと言われ、指定口座に現金を振り込んだ。その後も何度もお金を要求されたことから、不審に思い、警察に相談した結果、詐欺被害が判明した。

キャッシュカード詐欺

(手口の一例) 市役所職員を名乗る者から電話があり、「今日が期限の還付金がある。手続きに来なかったので口座に振り込む。金融機関の口座を教えて欲しい」などと言われ自分名義の口座情報等を伝えた。その後、金融機関職員を名乗る者から電話があり、「キャッシュカードは古いカードだった。還付金を受け取るには新しいカードと交換する必要がある。職員が回収に行く。新しいカードを持って行かせる。」などと言われ、さらにキャッシュカードの暗証番号を聞かれたことから、暗証番号を伝えた。その日の夕方頃、男が来訪し、金融機関職員と思い、キャッシュカードを入れた封筒を渡した。その後の連絡がないため、金融機関に連絡し、警察に通報した結果、キャッシュカードをだまし取られ、お金が払い出されていることが判明した。